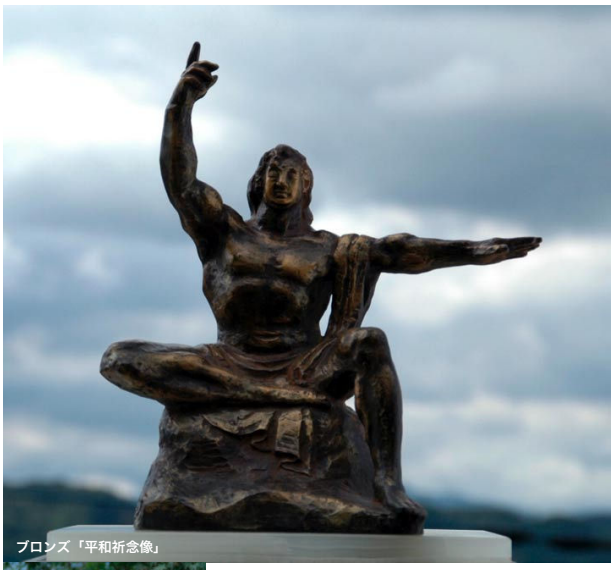
ギャラリー

ゆとろぎの展示室は羽村市内外の美術作家の作品はもとより市民アーティストの作品も含めて、年間を通してアートを展示するギャラリー空間です。市民のみなさんが気軽に本格的な美術作品に親しんでいただけるように企画をすすめています。


ブロンズ「平和祈念像」

彫刻・書・絵画

北村西望展

2006 年 11 月 23 日（木）～ 12 月 3 日（日）
開場 10:00 ～閉場 17:00（最終日のみ 16:00 閉場）
生涯学習センターゆとろぎ展示室（入場料無料）
主催：羽村市生涯学習センターゆとろぎ
　　北村西望実行委員会

※チケットの購入・問い合せは生涯学習センターゆとろぎ☎042-570-0707へ

故北村西望（きたむら・せいぼう）は大正期から戦後の昭和にかけて活躍し数々の優れた作品を残した、日本を代表する彫刻家です。日本だけでなく世界にもよく知られている作品は長崎市の平和祈念像です。天に突き上げた右手は原爆の脅威を現し、水平に伸ばした左手は平和の尊さを象徴し、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈っていると言われています。実は、この作品は西望が吉祥寺の住居兼アトリエで製作した作品です。現在、井の頭自然文化園の中にある「北村西望彫刻館」に原型が保存されています。

西望は、１８８４年（明治17年）に長崎県の南有馬村（現在の南島原市）の名家の四男として生まれました。初めは教師を志望していましたが、病気をきっかけに彫刻の才能を見いだされ、京都の美術工芸学校で彫刻の基礎を学びました。その後、東京美術学校（現在の東京芸術大学）彫刻科に補欠で入学し、主席で卒業した逸話を残しています。また、その才能は彫刻にとどまらず絵画・書にまで及んでいます。１９５８年（昭和33年）、文化勲章・文化功労賞を受賞。１９８７年（昭和62年）３月、１０４歳で永眠しました。

ゆとろぎでは、「平和祈念像」など西望の代表的な彫刻作品と書画など数十点を展示します。10月に開催される能面彫刻とはちょっと趣きの違う、ブロンズ彫刻の世界を是非お楽しみください。

ブロンズ「将軍の孫」

ブロンズ「夢」

書（色紙）「夢」

鑑賞事業

平成 18 年度文化庁
「本物の舞台芸術体験事業」

モダンダンス

～優れた芸術、豊かな心

子供たちに一流の舞台芸術を身近に観てもらい、感動し、豊かな感性を育んでもらいたい……、そんな願いを込めて文化庁と（社）全国公立文化施設協会の助成を受けて、第一線で活躍しているダンサーによる「モダン・ダンス（現代舞踊）」の公演を行います。

モダン・ダンスは自由奔放なダンスの動きを通して、現代人の内面を表現する芸術です。なにやら難しそうに思えますが、舞台のすばらしさは理屈抜きに楽しめます。対象は高校生以下の子どもと保護者です。家族揃ってお出かけください。

日時■10月24日（火）
　午後４時30分開演
会場■ゆとろぎ大ホール
入場料■無料

小学生以下の児童は保護者同伴または送迎をお願いします。未就学児の一時保育（定員15名・有料・要予約）があります。お問い合わせ・入場の申込みは電話でゆとろぎへ（月曜日休館・午前9時～午後7時）。